

## 新春雑感

わが国経済は踊り場を脱し、緩やかな回復基調にあるのは嬉しく、つづけて安定的に回復することを期待しています。昨年もいろいろな災害や事件がありましたが、技術者の同類として特に残念であったのは、建築の構造計算書の偽造事件でした。「民で行うことは全てベスト」とする行過ぎた認識に警告が発せられたと同時に、一級建築士という高度な資格をもった専門家が、甚だしく倫理にもとる行為をし、多くの人々の生活に大きな脅威をもたらしたことは重大な問題です。技術が高度化した現在、法令順守以前に倫理を守る事が専門家には強く求められている事を、我々は忘れてはならないのです。

(御巫 清泰)

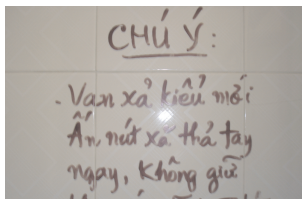
## ベトナム港湾保安対策レポート

APEC港湾保安専門家会合は域内諸国で港湾保安ワークショップないしセミナーを開催しています。12月20日、21日にハノイで開かれた会合に講師として出席しました。

港湾保安対策については、当該国の港湾事情、治安事情など環境条件によって、取るべき具体策には差異があって当然で、画一的な「正解」「不正解」がある訳ではない、という点が強調されました。この点はAPECチームがインドネシアなど他国でも強調してきた点です。前日のハイフォン港視察では、ゲートチェックが顔パスに近いやり方であったことや、物売りの小舟が本船に頻りに近づいていたことなど保安上の問題点が講師陣から指摘されましたが、ハイフォン港責任者からは、「ちゃんとやっている。ベトナム流の効果的やり方」などの反論がありました。仲間の豪講師から私に感想を求められたので、「戦争に負けたことのない国だし、治安の良さと自国流への自信のあらわれじゃないか」とコメントしておきました。

6年ぶりのベトナムでしたが、前回にもまして「街ゆく人々が、皆幸せそうである」ことに驚かされます。国際基準を当てはめるとまだまだ貧しい国ということにはなるのですが、文化水準の高さというか、民度の高さが背景にあるのでしょうか。(400年ほど前に仏人宣教師のローマ字化のせいで、現在のベトナム語表記はチンプンカンプンですが、中国文化圏で、かなりの単語は漢字由来のようです。)

交通事情ですが、街を歩くと、とにかくバイクの洪水に驚かされます。6年前は1/3から半分くらいは自転車だったような気がしますが、今は8、9割バイクです。二人乗り、三人乗りもあつたりで、滞在中だけでも接触、転倒など三件も事故を目撃しましたが、人命に影響のないところが救いです。そこに、伝統スタイルの物売りが登場するのですから、欧米の講師陣は「道路横断は自殺行為だ！」などと怖じ気づくくらいです。(寛 隆夫)



トイレのチューイ書き



バイクの洪水

## 港湾政策研究所「研究レポートNo.002-A」発刊

港湾政策研究所は、港湾政策に関する総合的なシンクタンクとして昨年4月設立され、政策研究、計画調査、保安・情報システムの3部門に亘る調査研究に取り組んでいます。

最初の研究成果として「港湾計画新読本～港湾計画策定者へのチャート～」を昨年7月に取りまとめ発刊しましたが、この度、研究レポート第2弾として「グローバル化の中での関西経済の再生方向～地域経済と港湾の一体的考案から～」を発刊しました。



今回の報告は、地域経済と港の再生という観点から、関西経済の地盤沈下と神戸港の相対的な地位の低下に対する再生の方向という課題をテーマとしました。

神戸港の地位は関西経済と連動して低下しており、関西経済及び神戸港再生のためには両者を一体不可分として認識し検討する必要があるのではないかとこの考えから取り組んだものです。

取り組みにあたっては、外部の専門家による委員会を設けて検討を重ねました。

委員会では、神戸港の課題の究明と再生策の探求、港湾ロジスティクスハブの形成、関西における産業立地の動向、港湾経営戦略の国際的動向と日本港湾の課題、関西経済の衰退と再生課題等、各委員の幅広い分野における研究成果を報告して戴きました。それを基に“グローバル化の中で関西経済と神戸港は再生に向けて何をすべきか”の視点で熱心な議論が展開されました。本報告書はこの検討結果をとりまとめたものです。

本報告書が、関西経済の再生と神戸港の再活性化に取り組みされる方々を始め、地域経済と港湾の活動を一体として把握し、その振興策を探ろうとして取り組まれる方々に少しでもお役に立てれば幸いです。



## 平成18年年間行事予定

<p>1月16日(月)……ジャパン・クルーズ・シンポジウム (於：横浜シンポジア)</p> <p>1月25日(水)……港湾関係者新春懇談会(於:全日空ホテル)</p> <p>1月31日(火)……鮫島賞他各賞推薦締切</p> <p>2月22日(水)……理事会 (於：東海大校友会館)</p> <p>3月7日(火)～8日(水)……港湾講演会及びシンポジウム (於：海運クラブ)</p> <p>3月中旬……表彰委員会</p> <p>5月中旬……理事会</p> <p>5月24日(水)……評議員会・通常総会・港湾功労者等表彰式・交流パーティー (於：高知市)</p> <p>5月25日(木)……シンポジウム (於：高知市)</p> <p>6月27日(火)～29日(水)……港湾行政実務初任者研修 (於：</p>	<p>全国都市会館)</p> <p>7月………フォトコンテスト募集開始</p> <p>7月15日(土)～23日(日)……「海フェスタとやま」への協賛</p> <p>9月30日(土)……フォトコンテスト募集締切</p> <p>10月中旬……理事会</p> <p>10月11日(水)～13日(金)……港湾行政研究会(事務) (於：船の科学館)</p> <p>10月25日(水)……港湾整備振興全国大会 (於：砂防会館)</p> <p>11月初旬……北東アジア港湾協会長会議(於:宮崎市)</p> <p>11月14日(火)～16日(木)……港湾行政研究会(技術) (於：船の科学館)</p> <p>11月下旬……フォトコンテスト審査・結果発表</p> <p>12月………予算編成報告会</p>
---	---

## 出 版 物

### 出版物の「代金引換」販売の開始について

会員の皆様よりご要望の多くありました書籍の「代金引換」販売を1月20日より開始いたします。

なお、これに伴い「現金書留」による支払方法は廃止いたします。

申込み用紙につきましてはHPより申し込み書を印刷し、FAXにてご返送下さい。

#### 注意事項

- ・1件につき書籍代の他に、下記の代金引換手数料がかかります。

代金引換額	代金引換 手数料
1万円	315円 (本体価格300円、消費税15円)
1万円～3万円未満	420円 (本体価格400円、消費税20円)
3万円～10万円未満	630円 (本体価格600円、消費税30円)
10万円～30万円未満	1,050円 (本体価格1,000円、消費税50円)

- ・一回のお申込みの上限金額は30万円となります。30万円を超える場合は、金額に応じて再度代金引換手数料がかかります。
- ・運送会社が書籍をお預かりできる期間は、発送日より7日以内(土日・祝日を含む)となりますので、長期休暇・不在等にはご注意ください。
- ・領収書は原則として送付状となります。(ご記入いただいた部署名・氏名がそのまま宛先となります。)なお、別途必要な場合には申し込み書の備考欄にその旨をご記入下さい。
- ・送料が別途必要な書籍「港湾の施設の技術上の基準・同解説」、「日本の港湾2005」につきましては、書籍の価格に送料1,000円を加えた額が代金引換額となります。
- ・非会員様の場合、申し込み書のFAX受け取り後、当協会より確認の電話が入ることがございます。

港湾協会では、以下の図書、雑誌等を出版しています。  
〔(非会員価格)【送料】年月は発行年月〕

- ①港湾の施設の技術上の基準・同解説(平成11年改訂版)  
¥24,150(¥26,250)【¥1,000】平成11年6月
- ②港湾土木請負工事積算基準(平成17年度改訂版)  
¥10,000(¥12,000)平成17年4月
- ③船舶及び機械器具等の損料算定基準(平成16年度改訂版)  
¥2,000(¥3,000)平成16年4月
- ④港湾関係補助金等交付規則実施要領(平成17年版)  
¥4,500(¥4,500)平成17年7月
- ⑤港湾工事共通仕様書(平成16年版)  
¥5,500(¥6,500)平成17年3月再版(一部改訂)
- ⑥港湾設計測量・調査等業務共通仕様書(平成13年版)  
¥3,500(¥4,500)平成15年4月再版(一部改訂)
- ⑦海岸保全施設の技術上の基準・同解説  
¥6,300(¥6,300)平成16年6月
- ⑨港湾行政の概要(初任者用)(平成17年度版)  
¥8,000(¥10,000)平成17年6月
- ⑩港湾行政の概要(事務者用)(平成17年度版)  
¥10,000(¥10,000)平成17年10月
- ⑪港湾行政の概要(技術者用)(平成17年度版)  
¥15,000(¥15,000)平成17年11月
- ⑫数字で見る港湾(2005年版)  
¥1,000(¥1,000)平成17年7月
- ⑬日本の港湾2005  
¥16,000(¥16,000)【¥1000】平成17年3月
- ⑭機関誌「港湾」 ¥1,050(¥1,050)月刊誌
- ⑮よしお君とでろりん ¥1,400(¥1,400)平成17年7月
- ⑯港湾計画「新」読本 ¥3,150(¥4,200)平成17年7月
- ⑰公有水面埋立実務便覧(全訂2版)  
¥9,000(¥10,000)平成14年6月

価格はすべて消費税を含んでいます。送料を含まない場合、1冊の送付料金を記載しています。多数の場合はお問い合わせ下さい。購入方法は、以下のとおりです。

- ①当協会受付にて販売しております。
- ②送付をご希望の場合には、郵便振込又は代金引換にてお申し込み下さい。

〔郵便振込の場合〕 郵便局の振込用紙に書籍名、冊数をご記入下さい。

郵便振込口座:00160-63105、口座名:社団法人 日本港湾協会

なお、機関誌「港湾」の購入につきましては、電話にてご連絡をお願いいたします。

※1月より代引きによる販売を導入しますので詳しくはHPをごらん下さい。